

# まちづくり通信No.71 市民ネットワーク

## 湯浅美和子の市議会報告

**1面 平成23年第2回定例会(6/9~6/24)報告**  
震災に向けての復興予算、海岸部液状化調査

**2面 みはまネットの活動報告**  
教科書展示会、放射線量測定、政治カフェ、ぼれぼれ、子どもの広場、インフォメーション

発行 市民ネットワーク/編集 市民ネットワークみはま  
千葉県美浜区高洲3-11-3 並木ビル2F  
〒261-0004 Tel・Fax 278-5005  
メールアドレス・mihama@chibanet.jp  
http://www.chibanet.jp/mihama/index.html  
配布地域 美浜区 配布部数:30,000部



～6月議会 終わる～

## 総力挙げて震災復旧へ

東日本大震災による液状化被害への対応など、総額96億787万円の補正予算案が承認されました。一般質問でも、質問に立った28人中21人が震災関連を取り上げ、まさに震災対策一色の議会でした。

復旧への総事業費は約108億円と見積もられており（インフラ関連67億円、学校などその他の公共施設21億円、被災者支援11億円、民間への助成1億円、その他予備費や電力関連8億円）、22年度補正分、通常の補修費及び23年度の補正予算をもって、ほぼすべてが予算計上されたこととなります。

### 湯浅美和子の一般質問

「震災を受けての今後の対応について」以下5項目を取りあげました。

#### (1) 復旧について

道路・下水道などのインフラ復旧を全体調整してスムーズに行うこと。各地でみられる境界杭の飛び出しなどへの対応は、道路境界を決定する時、住民との調整を。

#### (2) 地域防災計画の見直しについて

最低限の備蓄はなるべく市民に近いところへ。また防災計画の見直しに今回の市民の経験を活かすための工夫を。

#### (3) 放射性物質対策について

校庭や公園など局所的に線量の高いところもあるので、そういった場所を特定し、掃除などの対応を。また測定機を学校・PTAに貸し出すなど、市民が測定することに支援を。

#### (4) 高齢者の住まい方について

美浜区の液状化の被害が大きかった地区は高齢化問題が大きかったところ。地震後高齢者だけで住むことへの不安がますます高まっている。これからの高齢者の住まい方の相談もしっかりとおこなってほしい、また今後自宅を福祉目的に活用する時の支援も検討してほしい。

#### (5) これからのエネルギー政策について

太陽光だけでなく、太陽熱利用への補助も検討してはどうか。23年策定予定の地球温暖化対策実行計画へも自然エネルギー目標値を書きこんでほしい。

### 補正予算中 東日本大震災への対応 86億9000万円

主 な 内 容	金 額
被災者への支援 ・被災者住宅再建支援 住宅被害を受けた世帯のうち国制度の対象とならない場合に解体費等を補助 ・災害援護資金貸付 23年5月の法改正を受け、償還期間が10年から13年に、利率が年3%から、保証人を立てる場合には無利子に（半壊以上） ・被災者住宅建築資金 年利2.0%以内 県制度（1%）に市が上乗せ 利子補給 ・災害見舞金 全壊5万円 半壊3万円	8億9816万円
社会福祉施設への支援 ・高齢、障害者施設への修繕補助、非常用自家発電機の設置助成 ・私立保育園への復旧補助	6億5140万円
インフラ復旧 道路・44km 橋・7橋 下水道・管渠約7km	50億3400万円
公共施設の復旧 学校、市営住宅 公園	16億1800万円
庁舎などの復旧 市庁舎、区役所、消防署など	1億8700万円
その他 太陽光発電設備設置助成 当初予算に追加（約100件分）ほか	約3億円

### 稲毛の浜、検見川の浜の地震の影響は？

美浜区は住宅地の液状化の被害が大きく、なかなか人工海浜まで意識が向かず、調査に行ったのは地震から3カ月以上も過ぎた6月18日でした。

幕張の浜は駐車場も浜も閉鎖されており、確認はできませんでした。検見川の浜は影響がないように見えたが、歩いてみると突堤は斜めに傾いていました。ヨットハーバーの出入り口には段差ができており道路は陥没して大きな穴が開いていました。

稲毛海浜公園は建物と道路に段差がかなり出来ていました。花の美術館・ビーチセンターは閉鎖され、使用できるのは9月以降の予定だそうです。花時計前の池は亀裂が入り、底が隆起し干上がっています。芝生広場は湿地のようになって立ち入り禁止になっています。

市民生活の復興が第一ですが、市民の憩える場所も早く利用できるようになるといいですね。



稲毛ヨットハーバー出入口付近



ビーチセンター周辺

地盤沈下による段差

### 3.11地震を体験して ～地域力実感～

3月11日突然の地震。在宅していた私は、地震の直後目の前で起きた信じ難い光景を一生忘れることはできないでしょう。揺れが止まった直後、何かが壊れるような大きな音、激しい液状化により水と土砂が吹き出し、道路は埋め尽くされました。みるみるうちに街の様相が変わっていきます。自然の威力のまえで人間の無力さを思い知らされました。

私の住んでいる町内は美浜区で一番被害が大きかったといわれている地区です。町内のすべての道路が波うち、あるところでは陥没し、半数以上の家が傾いています。町内がもとの街並みになるまで、3年以上かかるだろうといわれています。復興には時間がかかります。自分の身は自分で守るしかない、ということも実感しています。

このような状況のなかで、地域の組織（自治会、自主防災会等）の活動や隣近所といった地域の人たちのつながりが大きな力になります。地域の団結力が復興に欠かせないものになると思います。（磯辺 Y. K）

### 美浜区 震災証明発行数

(6月16日現在)

町 名	磯 辺										稲毛海岸 新港	高洲			高浜		浜田		幕張西		真 砂		計
	一	二	三	四	六	七	八	一	四	一		一	三	一	二	一	五	六	一	二	三	四	
全 壊	1		4	2			1																8
大規模半壊	20	4	30	22		54	69		6	1		1	1					1		4		3	218
半 壊	22	3	20	29	1	45	51		3			2			5	4	6	2	9		10	14	226
一部破損	28	5	37	31	5	54	50	1	2	1	4	2	2	5	31	11	23	1	14	12	34	38	391
計	71	12	91	84	6	154	170	1	11	2	4	5	3	5	36	15	30	3	27	12	47	54	843

千葉県 全体の 状 況	全 壊	大規模半壊	半 壊	一部破損	その他破損	計
		12	199	212	633	153
	非住家（事業所等）の損壊					37

(5月27日現在)